

阪高西伸部や湾岸連絡線

早期整備求め 国会議連発足

阪神間の湾岸エリアをつなぐ大阪湾岸道路（阪神高速湾岸線）西伸部と名神湾岸連絡線、神戸西バイパスの早期整備を求める超党派の国会議員連盟が20日、発足した。東京・永田町の参院議員会館で設立総会が開かれ、兵庫県関係の国会議員らが、事業の促進や予算確保などを求めていくことを確認した。

自民、公明両党や日本維新の会など超党派の約30人が名を連ねる予定。2016年に事業化された西伸部に加え、湾岸線と名神高速をつなぐ名神湾岸連絡線などの一体的な整備促進を目指す。

総会には、井戸敏三知事

阪神湾岸地域高速道路網整備促進国会議員連盟の会長に就き、あいさつする末松信介参院議員（中央）＝東京都千代田区（撮影・佐伯竜一）



のほか、今村岳司・西宮市長、鳥居聡・神戸市副市長、国土交通省幹部ら約80人が出席。議連会長に就いた末松信介参院議員（自民、兵庫選挙区）が「西伸部と連絡線を中心に、みなさんの力で取り組んでいきたい」

とあいさつした。

また、西伸部の国直轄事業の予算確保や、連絡線の詳細ルート検討の具体化を求める要望書などを国交省幹部に手渡した。

（大盛周平）

神戸新聞

2017年7月21日